

令和3年(2021年)8月 通刊176号

電話 0467-87-1001 FAX 0467-85-8275 火曜日～金曜日は9時～19時 土日祝日は9時～17時



写真:本館2階展示ホール

本館の展示ホールで6月18日から7月22日まで「ちがさきの祭」と題して、浜降祭と大岡越前祭を中心に、市内の祭りに関連する資料展示を行いました。

書庫の貴重資料を展示

この展示は、新型コロナウイルスの影響で市内のお祭りが中止となる中、「せめて展示で祭りを感じてもらおう」と『本がだいすきプロジェクトちがさき』が企画したものです。

過去の茅ヶ崎市広報番組で特集された祭りの映像を上映した他、週刊新潮の表紙にもなった版画や記念入場券など、書庫に保管されていて閲覧機会の少ないものを中心に展示しました。

ご覧になった方からは、祭りを懐かしむ声や、「浜降祭が、雑誌の表紙やたばこのパッケージになっていたの!？」と、驚きの声も聞かれました。

そこで、今回は、茅ヶ崎の夏の風物詩「浜降祭」にスポットを当て、祭りの由来とともに展示した貴重資料の一部をご紹介します。

浜降祭の由来

「浜降祭」は、海岸で行われる ^{みそぎ} 禊 神事のことです。茅ヶ崎だけでなく他の地域でも見られる神事です。祭りの起源は諸説ありますが、1838年(天保9年)寒川神社の神輿が、^{みこし} 国府祭(5月5日に相模の六社が合同で行う祭り)に出かけた帰りに川に流され行方不明となりました。数日後、南湖の網元鈴木孫七に発見され、そのお礼として寒川神社の神輿が茅ヶ崎海岸に行くようになったということです。(2面に続く…)

【予告】本がだいすきプロジェクトちがさき特別展vol. 6

「ぶらり橋めぐり～橋がつくる人・まち・風景～」(仮)



開業を控える浜見平の商業施設にて、施設を結ぶ「橋」を建設中です。

そこで、市内の身近な「橋」に改めて注目！湘南ベルブリッジ、鳥井戸橋、史跡日相模川橋跡等にスポットを当て魅力に迫ります。どうぞお楽しみに！

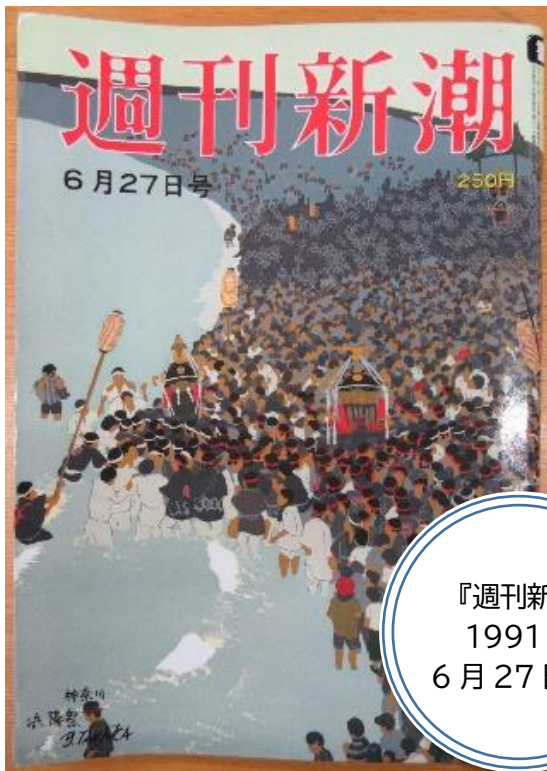
期間：2021年8月25日(水)～9月18日(土)

主催：本がだいすきプロジェクトちがさき

(茅ヶ崎市立図書館、認定NPO法人まちづくりスポット茅ヶ崎)

協力：NPO法人アーバンデザインセンター・茅ヶ崎、キレイと健康づくります、湘南地区まちちから協議会、茅ヶ崎市立南湖公民館、茅ヶ崎市文化資料館、神奈川県立茅ヶ崎西浜高等学校西浜波音図書館 ※いずれも予定





『週刊新潮
1991年
6月27日号』

茅ヶ崎で行われる浜降祭は、毎年7月の第3月曜日に開催され、夜明けとともに茅ヶ崎市と寒川町の各神社から神輿が砂浜に集まります。現在のように数多くの神輿が参加するようになったのは、大正時代以降のことだそうです。

浜降祭は週刊新潮の表紙にもなりました。

1982年から1991年まで週刊新潮の表紙絵を担当された田中正秋さんは、日本の祭りを題材にした作品を数多く制作されています。表紙絵の元となった版画「浜降祭“神奈川”」も当館で所蔵しています。

「浜降祭」切手台紙第一集には、昭和59年7月15日の記念押印があります。第十一集までの発行予定があり、32基の神輿を取り上げたようですが、当館では第三集までの所蔵となります。各神社の神輿と、それを担ぐ人々の写真から熱気と迫力が伝わります。

【参考文献】

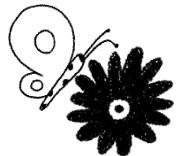
- 『茅ヶ崎市史3』茅ヶ崎市
- 永田衡吉著『神奈川県民俗芸能誌』錦正社
- 國學院大學日本文化研究所編『神道事典』弘文堂



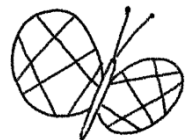
『濱降祭
記念入場券』
昭和58年7月15日
茅ヶ崎駅発行



『「浜降祭」
切手台紙第一集』
①甘沼八幡大神
茅ヶ崎郵便局・寒川
郵便局発行



本館おはなし会のおしらせ



対象年齢	日時	定員・申込
おひぎにだっこ 0～2歳	第3水曜日 午前10時から	申込制
小さい子向き 2～4歳	第2水曜日 午後3時から	6組・申込不要
小さい子～小学生向き 4歳～小学生	第1・2・4土曜日 午後3時から	6組・申込不要

オンライン(ZOOM)で開催する等、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じて行います。

社会状況により開催を見合わせる場合がありますので、詳細は図書館ホームページでご確認ください。→



自由研究

図書館員の



【発芽して育ちつつあるむべ】

図書館入口の頭上に、何やら蔓のようなものが絡まっています。「あれは何ですか？」というお問い合わせをよくいただくのですが、あれは「むべ」という植物です。11月頃になると、紫色の実をたくさんつけます。入口付近は結構茂っているものの、駐輪場側は少し隙間があって淋しい感じがしていたので、栽培して増やしてみることにしました。

『むべ』を種から育ててみる

昨年収穫した実のうち、少し傷んでしまった中から種を取り出しました。(117個も種が入っている実もありました!)種はゼリー状の果肉に覆われており、それを洗い流します。三角コーナー用の網(粗目)の中に種を入れ、水を流しながらゴシゴシすると、きれいに果肉の部分が取れます。これを蒔くのですが、前の年になかなか発芽しなかった経験から、種を水で湿らせたキッチンペーパーに挟んで保存容器に入れ、疑似的に越冬させるために冷蔵庫で3か月

ほど寝かせておきました。植物によってはその状態で発芽することもありましたが、むべはなかなか発芽せず、冬を越して少し暖かくなり始めた頃を見計らって、外で植木鉢に蒔いてみました。すると、4月の下旬になって土の中から徐々に茎のようなものが見え、数日後には双葉が次々と顔を出し始めました。本格的に暖かく(暑く?)なる5月には、たくさんの芽を出すことに成功しました。タイミングを見て植え替え、大きく育てていきたいです。



【むべの発芽の様子】

図書館員のおすすめ My Recommend

『LIVE ON STAGE』

はっぴいえんど

[CD13128/1V/4A]



写真提供...URCレコード

近頃はもっばらジャム系ばかり聞いていますが、高校当時は60年代周辺のロックを好んで聞いておりました。今回ピックアップしたのは、『日本語ロックの祖』でもあり『シティポップのルーツ』でもある「はっぴいえんど」から。

最近もテレビ番組で楽曲がカバーされていたので、ご存じの方も多いのではないのでしょうか?当時はこのバンドのロックな面を気に入って聞いていたのですが、美しい日本語の歌詞と心地良いメロディに、「シティポップもいいな」に自分がその後変化していくきっかけになったと、今では思っています。まあ、メンバーを見れば当たり前のことですね(図書館員O)



分香 館川 TOPICS

香川分館で行っているイベントや最新のトピックスなどをお伝えしています。

茅ヶ崎市立図書館香川分館
茅ヶ崎市香川 1-11-1
☎0467-51-4946



熱心に話を聞く香川小3年生のみなさん

■第3土曜日おはなし会を再開

奇数月は「おはなしのたまご」、偶数月は、「茅ヶ崎おはなしの会」のみなさんにご協力いただきます。感染防止対策のため、定員は先着6組、実施時間は20分程度となります。

皆さんの参加をお待ちしております。

10月16日(土)14時～

11月20日(土)14時～

12月18日(土)14時～

※社会情勢により開催を見合わせる場合があります。
開催状況は図書館ホームページでご確認ください。

■児童が楽しく図書館を知る

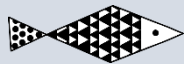
6月24日に香川小学校3年生のみなさんが施設見学に来ました。

職員から本の借り方などの話を聞いた後、順に館内を見学。みなさん熱心にメモを取り、気になったことを質問してくれました。

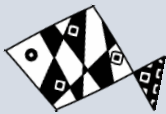
その日の夕方、うれしいことが！児童の一人がお母さんと一緒に図書館の利用者カードを作って本を借りていってくれたのです。

みなさんも、ぜひ香川分館に本を借りに来てくださいね！

あんな分室



こんな分室



小出
図書室



市内には、本館・香川分館の他、9つの図書室と2つの配本所があります。今回は、小出図書室をご紹介します。実際に図書室で働く職員に①置いてある本の特色②アピールポイントを聞いてみました。

①児童書や絵本が豊富で、隣にある小学校からお子さん達が元気に読みに来てくれます。忙しい方向けのレシピ本、ビジネスや心理学などの自己啓発本もあります。

②特別展示コーナーを設けて、「今」気になる本を見つけたお手伝いをしています。テーマは4月からお弁当作りを始めた方への時短レシピ本、本屋大賞受賞作家の作品など様々です。

編集後記



夏になると虫に関する調べものが増えます。先日は「うちで飼っているカマキリがエサを食べなくて…」との相談。何冊も本を開いていくと「エサはピンセットで挟みカマキリの目の前で動かしてやるとよく食べる」という記述を発見！

日常のお困りごとは、お気軽に図書館へ。本の中から一緒に答えを探しましょう。

『自由研究にバッチリ役立つ！飼育と観察百科』世界文化社
佐々木洋著『昆虫採集昆虫の見つけ方から飼育方まで』ブティック社